

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市洛西ふれあいの里授産園の運営について

当施設は、平成元年に知的障害者の働く場として開設し、現在はリネン作業と陶芸作業を提供しています。2011年には生活介護事業所になりましたが、日中活動や余暇活動を取り入れながら、作業を行っています。

当施設の収入と支出

<当事業所の利用者数>
主に知的障害者 61名
令和元年度 年間開所日 242日
令和元年度 延べ利用者数 12,942人

<支出>

総額 1.29 億円

利用者 1 人当たりの運営経費 9,940 円 (A)

人件費 6,360 円	事業費 610 円	事務費 660 円	就労支援事業費 1,820 円	少額修繕費 30 円	その他 460 円
----------------	--------------	--------------	--------------------	---------------	--------------

<収入>

総額 0.32 億円

利用者 1 人当たりの収入
2,460 円 (B)

総額 0.97 億円

(A) - (B)

差額 7,480 円 (75%)

就労支援 事業収入 1,990 円 (20%)	その他収入 470 円 (5%)
----------------------------------	------------------------

市民の税金で負担 (公費で負担)

いずれも概数
10 円単位で四捨五入

○ 国から支給される給付費と市民の負担 (公費負担) により、施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様にご納めいただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。